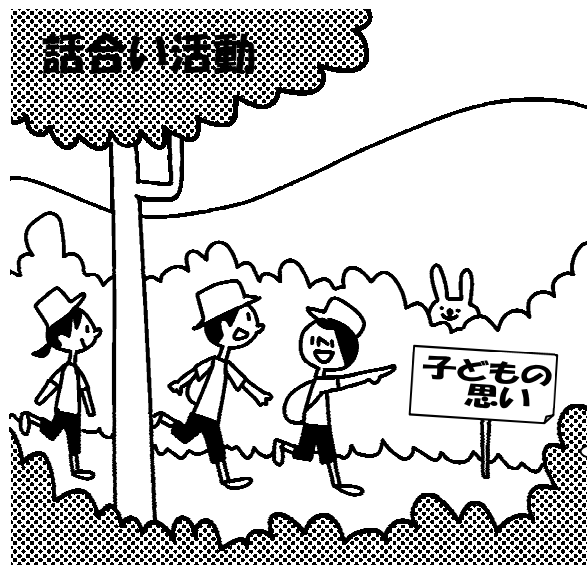


魅力ある話し合い活動の指導のポイント

1 話し合い活動のある場面で・・・

魅力ある話し合い活動って？

楽しそう
やってみたい！
【魅力的な活動】



こうすれば もっと
楽しくなるかな?
【問題を自分事に】

みんなで話し合ったか
ら すてきな活動になっ
たね!

【自分の成長・
学級の成長】

そのための 指導のポイントは？



2 具体的な活動例と指導のポイント 活動名「一人ひとりの個星を輝かせて1年生との笑顔わくわく集会を成功させよう！」

<p><活動のきっかけ></p> <ul style="list-style-type: none"> • たてわりのペアの友達を思い切り楽しませたいな。 <p><問題の発見></p> <p>○実行委員で活動のふりかえりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • これまでグループごとに協力して準備をしてきて一人ひとりの個星は輝いてきた。さらに学級としてのめあてにある「さすが6年生」と1年生に思ってもらえるように、学級みんなで何か一つのことできないかな。 	<p><問題の共同化></p> <p>○みんなで話し合う内容を学級で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学級のみんでできる会の終わり方の工夫は全員で話し合う必要があるね。 	<p><計画></p> <p>○原案を作成する。</p> <p>【決まっていること】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 終わりの言葉の「終わります。」を合図に行う。 • 2分以内。 • みんなで取り組む。 <p>【提案者の考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一人ひとりが星の形の画用紙に1文字ずつ書き、32文字のメッセージをつくらせて読み上げる。 	<p><話し合い></p> <p>○学級会をする。</p> <p>【決まったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 星の画用紙の裏にペアの友達に向けてのメッセージを書いて渡す。 • 星の画用紙を首かざりのようにしてペアの友達にかけてあげる。 	<p><実践></p> <p>○1年生と笑顔わくわく集会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1年生のお迎え • 始めの言葉 • 全体の流れ説明 • オリエンテーリング • 感想タイム • 結果発表 • 終わりの言葉 • どっきり大作戦 (学級会で決まった内容) • お見送り 	<p><振り返り></p> <p>○友達との認め合いタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> • ○○さんが1年生の目線でやさしく声をかけていたのがよかったと思います。 • 学級会の時にとってもいい意見を言っていた○○さんがすごいと思いました。 <p>○活動のめあてに対して振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1年生からのメッセージを読んで「さすが6年生」と思ってもらえるような活動をみんなでつくることができたと思います。
--	---	--	---	--	--

ポイント!

☆活動のめあてを具体的な学級の姿で子どもが考えられるように、なりたい姿を意識できるように助言をします。

☆子どもが学級の一員として自分の力を発揮したり、互いに声をかけ合いながら活動したりできるように、グループのみんなの役割が分かる計画表を作成する時間を設定します。

□子どもが、話し合い活動を通して学級の成長を感じられるように、活動のめあてに対してどのような話し合いを子どもにとって活動がよりよいものになるか、見通しをもちます。

□活動のめあてに近づけるような議題を選べるように、活動のめあてに対してできていることと、もっとよくしたいことについて実行委員の子どもと話し合います。

ポイント!

☆子ども一人ひとりが原案の内容を理解できるように、実行委員が実際にやりながら原案の説明できるように子どもと一緒に準備をします。

☆よりよい活動にしていこうとする子どもの思いを高められるように、原案に対して話し合いのめあてに沿って考えるように助言したり、じっくりと考える場面を設定したりします。

□子ども一人ひとりの考えを生かして集団決定できるように、みんなの意見を一覧にしたものをもとに、司会グループの子どもと話し合いの進め方を確認します。

□子ども一人ひとりが自分の話し合いへの参加の仕方や、自分の考えのよさを実感できるように、話し合いの中で友達のよかったところを認め合う場面を設定します。

ポイント!

☆子ども一人ひとりが活動のめあてに向かってがんばってきたことが分かるように、これまでの掲示物を見て振り返る時間を設定します。

☆子どもが活動のめあてにせまることができた実感できるように、会が終わった後に6年生の「さすがだな」と思ったところを手紙でもらえるように、1年生の担任と相談しておきます。

□みんなの考えによって活動のめあてにせまり、学級が成長したことを感じられるように、話し合いでの一人ひとりの考えのよさを、子どもの振り返りの前に教師が評価します。

□話し合い活動をしたことによって活動がよりよくなったことに子どもが気付けるように、みんなで決めて実行したことが1年生の笑顔につながったことを教師が評価します。

※子どもの声より (学級会での成長)

• 学級会をすることでめあてに向かって活動がよりよいものになりました。

• 自分の考えが学級のためになっていると分かって自信がつけました。



☆子どもにとって魅力ある活動となるようにとった指導のポイント
□子どもが自分の成長を感じられるような話し合い活動となるようにとった指導のポイント

魅力ある話し合い活動にするには…



○魅力的な活動をつくり、その中で生まれた問題を話し合しましょう

話し合いはあくまで「活動」の中の一部です。活動自体が子どもにとって魅力的なものであれば、その中で生まれた問題を自分ごととして真剣に話し合うことができます。「話し合い活動をして問題を解決すれば、もっと活動が楽しくなりそうだ」と子どもが感じることで、話し合い活動が魅力的になっていくでしょう。そのためには、子どもの声をよく聞き、子どもの思いに沿った活動をつくるのが大切です。



○子どもが、自分自身の成長が感じられるようにしましょう

話し合い活動をすることで、子ども自身にも、学級全体にも成長が見られます。話し合い活動をしたことでの成長を、子どもが感じることができるよう教師の手立てが大切です。例えば、活動の振り返りの際に「あのときの話し合いで、みんなで話し合ったからこんな活動ができたんだね（めあてが達成できたんだね）」と、話し合いの場面を想起させて、教師が意図的に価値付けすることがあります。子どもが話し合いをしたことでの自分や学級の成長を感じられるように、どのような支援をしたらよいか、考えていきましょう。

- 4 活動をよりよいものにするような集団決定をするために大切だと思ったこと、それを引き出す手立てを書いてください。